

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ **E型肝炎**の報告が1例(50歳代男性)があり、症状は発熱、全身倦怠感、肝機能異常です。感染地域は国内で、感染経路は経口感染です。本年の累積報告数は2例となりました。
本市において、平成28年は1例、平成29年は1例、平成30年は2例の報告がありました。本疾患の届出基準や届出に必要な要件等については、下記のホームページを御覧ください。
○厚生労働省ホームページ「E型肝炎」
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/01-04-01.html>
- ・ **A型肝炎**の報告が1例(40歳代男性)あり、症状は全身倦怠感、発熱、食欲不振です。本年の累積報告数は4例となりました。
- ・ **レジオネラ症(肺炎型)**の報告が2例(50歳代男性2例)(第44週追加報告分1例含む)ありました。いずれも感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は26例となりました。
- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が1例(90歳代男性)ありました。症状は尿路感染症、発熱です。本年の累積報告数は36例となりました。
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が1例(70歳代男性)ありました。症状は発熱、菌血症で、感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は62例となりました。
- ・ **百日咳**の報告が1例(10歳未満男性)ありました。症状は持続する咳、夜間の咳き込みで、感染地域は国内で、感染経路は学校です。本年の累積報告数は96例となりました。
- ・ **インフルエンザ**の定点当たり報告数は京都市では0.46(32例)となりました。全国では1.03となり、「流行入り」の指標となる「1」を超えました。体調管理に注意し、手洗いやうがいの励行、咳エチケットなど予防を徹底し、流行に備えましょう。インフルエンザの発生状況や予防対策については、下記URLを御参照ください。
○インフルエンザの発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>
○京都市子どもの感染症(令和元年11月号)「インフルエンザウ(イ)ルス流行に備えよ!」(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>
○インフルエンザの発生状況について(健康安全課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000051303.html>

◆ 今週のトピックス:<インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は、前週の0.57(39例)から0.46(32例)とやや減少しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 12例(肺結核 6例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 4例)うち喀痰塗抹陽性 3例
【1月以降の累積報告数 283例(肺結核 122例, その他結核68例, 潜在性結核感染者 93例)うち喀痰塗抹陽性 60例】
- ・ 四類:E型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 四類:A型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- ・ 四類:レジオネラ症 2例【1月以降の累積報告数 26例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 36例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 62例】
- ・ 五類:百日咳 1例【1月以降の累積報告数 96例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.46	32
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.35	101
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.02	44
	③ 咽頭結膜熱	0.51	22
	③ 手足口病	0.51	22
	③ 伝染性紅斑	0.51	22
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<インフルエンザ>

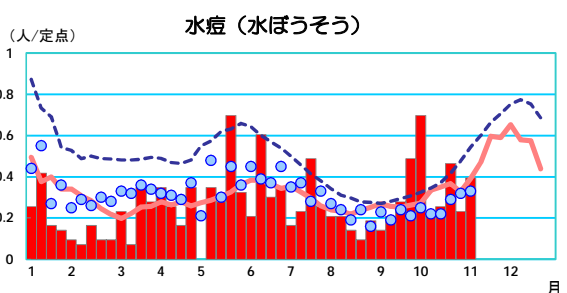
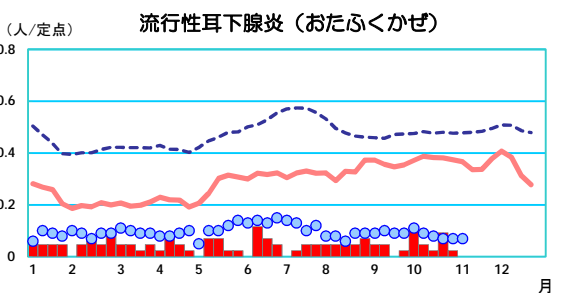
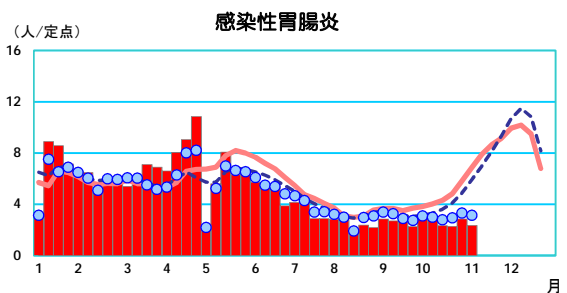
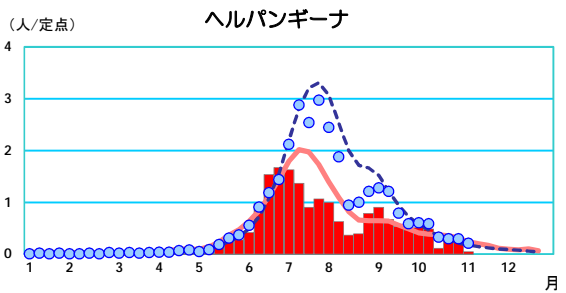
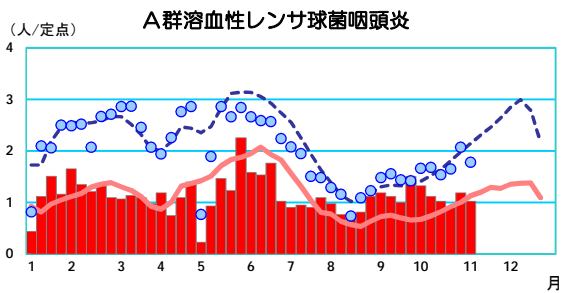
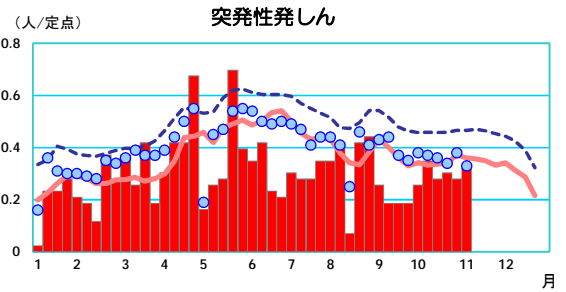
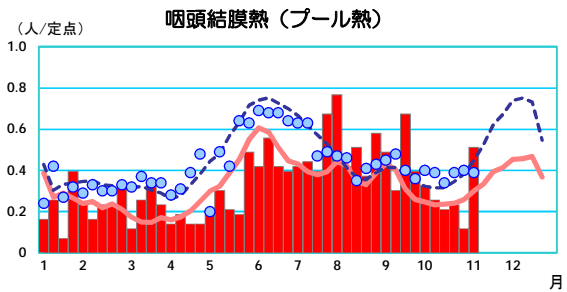
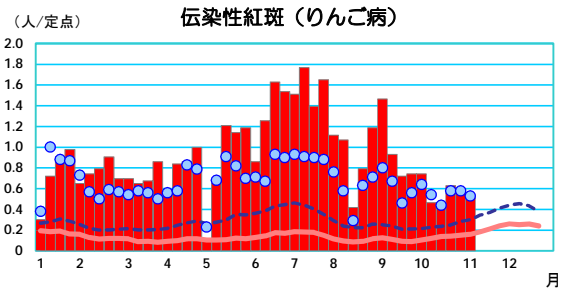
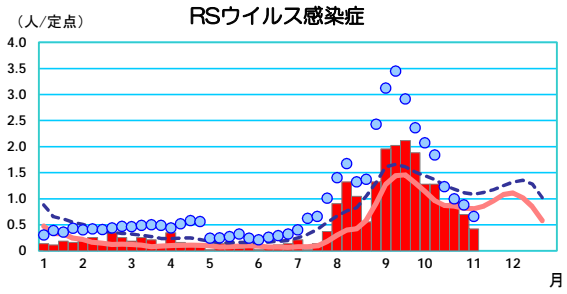
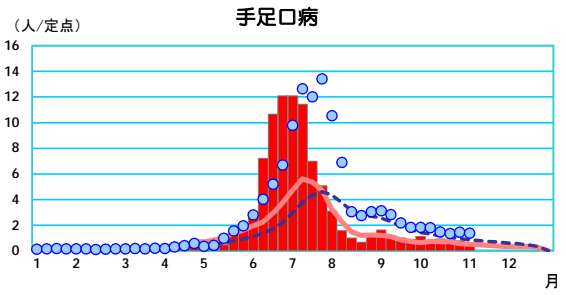
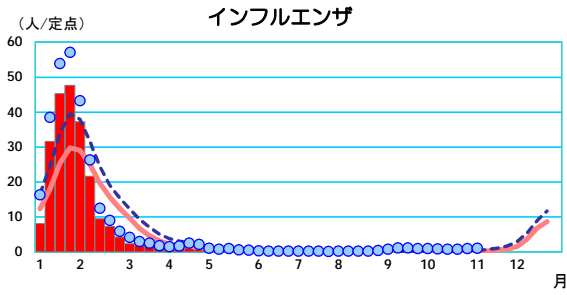
付表(疾病、行政区別報告数 / 年齢階級、疾病別報告数 / 週、疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、2019年11月13日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第45週(11月4日～11月10日)トピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は、前週の0.57(39例)から0.46(32例)とやや減少しました。現在のところ、京都市では流行と言える状況とはなっていません。一方、全国で見ると、前週の0.95からやや増加して1.03となり、流行開始の目安である1.00を上回って流行シーズン入りしました。今シーズン(2019/20)の発生動向は、前シーズン(2018/19)に比べると、全国及び京都市ともシーズン初期としては報告数が高い値で推移しています(図1)。

都道府県別では、沖縄県(4.45)をはじめ、鹿児島県(2.66)、青森県(2.48)、長崎県(2.31)、福岡県(2.03)で2を超えているなど、17の都道県で1を超えて流行入りしています。流行入りしている都道県数は、第42週に7、第43週に10、第44週(前週)に15、第45週(今週)17となっており、徐々に流行が広がってきています。

過去10シーズンの定点当たり報告数の推移を見ると、前シーズン(2018/19)及びその前のシーズン(2017/18)は2シーズン連続して、全国でピーク時に50を超えました。京都市では47.71、47.64と報告数が急激に増加し、京都市でも全国でも、1999年の感染症新法[※]施行以降その時点における最高値を更新しました(図2及び表1)。

今シーズン初期の動向や過去2シーズンの流行状況から、今後の発生状況を引き続き観察することが必要です。京都市では第48週から第51週頃(11月下旬から12月下旬)に流行入りし、翌年第4週から第5週頃(1月下旬)に流行のピークを迎えることが多く(表1)、これからが本格的な流行期となります。個々人の感染防御と集団の感染拡大防止のために、家庭や施設等でそれぞれが体調管理、手洗いやうがいの励行、咳エチケットなど、予防を徹底しましょう。

インフルエンザの年齢別・行政区別・他都道府県の状況等の発生状況については、下記URLを御参照ください。

○インフルエンザの発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>

[※]感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成11年4月1日施行)

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

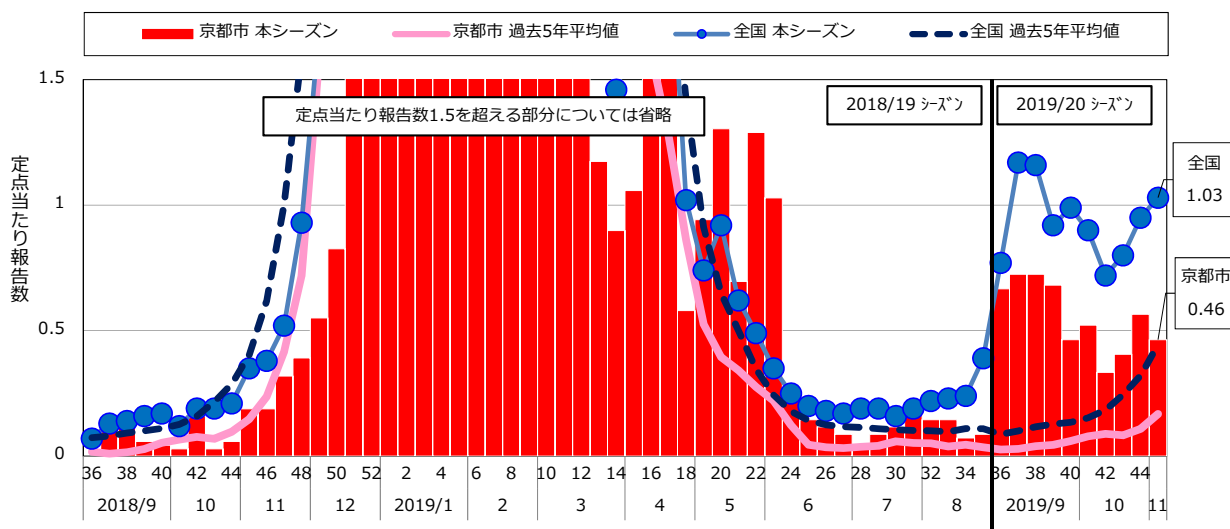


図2 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移(2009/10シーズン以降)

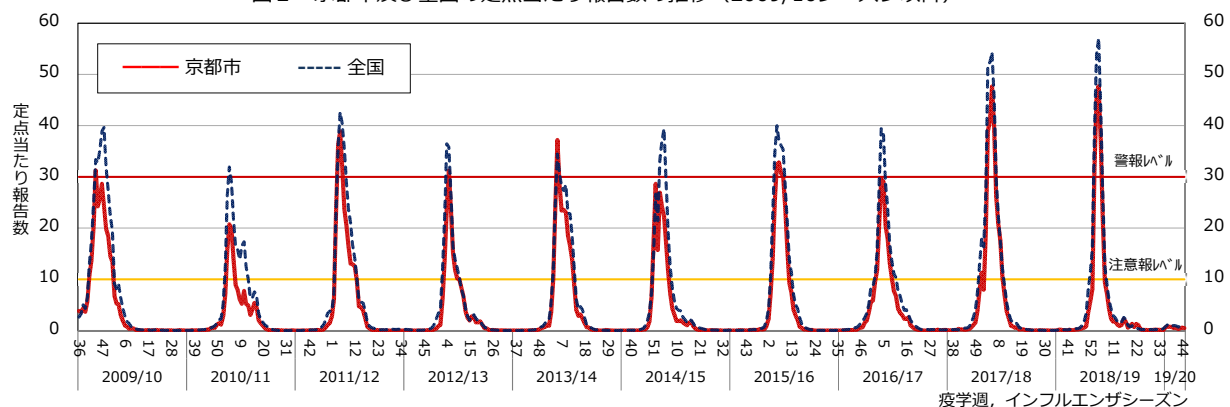


表1 京都市のインフルエンザ流行入り及びピークの推移

インフルエンザシーズン	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14	2014/15	2015/16	2016/17	2017/18	2018/19
1.00を超えた週(流行入り)	前08/09シーズン第33週	第50週	第51週	第1週	第52週	第49週	第3週	第48週	第48週	第51週
ピークの週	第44週	第4週	第5週	第5週	第5週	第52週	第8週	第4週	第5週	第4週
ピーク時定点当たり報告数	31.26	20.73	38.89	31.22	37.19	28.63	32.82	29.59	47.64	47.71
”(全国)	39.66	31.92	42.68	36.46	34.52	39.51	40.08	39.46	54.37	57.18

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第45週

疾病,行政区別報告数

2019年11月4日～2019年11月10日

データ入手日:2019年11月13日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	1	-	1	2	2	2	-	1	1	-	-	-	-						
左京	5	-	1	4	7	3	4	2	2	-	-	-	-						
中京	4	3	1	-	4	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	4	1	-	-	6	2	-	1	-	1	-	-	-						
山科	11	7	1	1	1	1	2	1	4	-	-	-	-						
下京	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	-	3	9	-	3	4	2	1	-	-	-						
右京	1	2	2	21	7	4	2	5	2	-	-	-	-						
伏見	3	2	15	10	45	5	5	5	2	-	-	-	-						
西京	-	3	1	3	18	-	5	1	1	-	-	-	-						
京都市計	32	18	22	44	101	17	22	22	14	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	0.14	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	0.20	-	0.33	0.67	0.67	0.67	-	0.33	0.33	-	-	-	-						
左京	0.71	-	0.25	1.00	1.75	0.75	1.00	0.50	0.50	-	-	-	-						
中京	0.80	1.00	0.33	-	1.33	-	0.33	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1.33	0.50	-	-	3.00	1.00	-	0.50	-	0.50	-	-	-						
山科	1.57	1.40	0.20	0.20	0.20	0.20	0.40	0.20	0.80	-	-	-	-						
下京	0.67	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	-	1.00	3.00	-	1.00	1.33	0.67	0.33	-	-	-						
右京	0.13	0.40	0.40	4.20	1.40	0.80	0.40	1.00	0.40	-	-	-	-						
伏見	0.27	0.29	2.14	1.43	6.43	0.71	0.71	0.71	0.29	-	-	-	-						
西京	-	0.60	0.20	0.60	3.60	-	1.00	0.20	0.20	-	-	-	-						
京都市計	0.46	0.42	0.51	1.02	2.35	0.40	0.51	0.51	0.33	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第45週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年11月4日～2019年11月10日

データ入手日:2019年11月13日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	32	-	-	2	2	1	-	-	2	1	2	4	5	-	5	1	3	2	1	1	-	
RSウイルス感染症	年齢3	18	5	4	5	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		22	-	2	4	6	2	2	2	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		44	-	1	-	2	3	5	2	4	6	5	2	9	1	4	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		101	1	6	20	11	12	8	8	5	1	6	4	15	2	2	-	-	-	-	-	-	-
水痘		17	-	1	-	1	1	6	2	-	3	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		22	-	3	5	5	3	2	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		22	-	-	3	1	1	7	1	5	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		14	-	5	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.46	-	-	0.03	0.03	0.01	-	-	0.03	0.01	0.03	0.06	0.07	-	0.07	0.01	0.04	0.03	0.01	0.01	-	
RSウイルス感染症	年齢3	0.42	0.12	0.09	0.12	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.51	-	0.05	0.09	0.14	0.05	0.05	0.05	-	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.02	-	0.02	-	0.05	0.07	0.12	0.05	0.09	0.14	0.12	0.05	0.21	0.02	0.09	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		2.35	0.02	0.14	0.47	0.26	0.28	0.19	0.19	0.12	0.02	0.14	0.09	0.35	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	
水痘		0.40	-	0.02	-	0.02	0.02	0.14	0.05	-	0.07	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.51	-	0.07	0.12	0.12	0.07	0.05	0.02	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.51	-	-	0.07	0.02	0.02	0.16	0.02	0.12	0.02	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.33	-	0.12	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.05	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第45週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年11月13日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	32	36	23	28	39	32
RSウイルス感染症	55	55	39	41	30	18
咽頭結膜熱	14	11	9	10	5	22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	57	48	44	39	51	44
感染性胃腸炎	129	119	100	98	123	101
水痘	30	9	11	20	10	17
手足口病	48	32	40	33	33	22
伝染性紅斑	32	20	20	27	26	22
突発性発しん	11	15	12	13	12	14
ヘルパンギーナ	22	21	5	11	10	2
流行性耳下腺炎	5	2	1	4	1	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	3	1	-	6	-
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	440	371	305	324	346	294

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	0.46	0.52	0.33	0.41	0.57	0.46
RSウイルス感染症	1.28	1.28	0.91	0.95	0.70	0.42
咽頭結膜熱	0.33	0.26	0.21	0.23	0.12	0.51
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33	1.12	1.02	0.91	1.19	1.02
感染性胃腸炎	3.00	2.77	2.33	2.28	2.86	2.35
水痘	0.70	0.21	0.26	0.47	0.23	0.40
手足口病	1.12	0.74	0.93	0.77	0.77	0.51
伝染性紅斑	0.74	0.47	0.47	0.63	0.60	0.51
突発性発しん	0.26	0.35	0.28	0.30	0.28	0.33
ヘルパンギーナ	0.51	0.49	0.12	0.26	0.23	0.05
流行性耳下腺炎	0.12	0.05	0.02	0.09	0.02	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	0.30	0.10	-	0.60	-
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	10.34	8.54	6.97	7.29	8.17	6.56

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。